

第1学年生活科指導案

令和4年10月26日(水) 第5校時

荒川区立第三峡田小学校

第1学年1組 20名

授業者 岩瀬 芳実

研究主題

未来につながる子どもの育成 ～SDGsの視点と関連させた授業づくり～

1 単元名 「三はけ小のことを おしえるよ」



2 単元の目標

1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分自身の成長や役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと進級への期待感や意欲をもって生活することができるようにする。また、年長児に安心して、小学校に入学してほしいという思いをもち、相手の立場を気に掛け、伝えたいことが相手に伝わるかどうか考え、学校生活のことを伝えることができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①年長児と関わることのよさや楽しさに気付き、そのために必要な技能を身に付けている。 ②これまでの学校生活において、自分でできるようになったこと、役割が増えたこと等、自分の成長に気付いている。 ③友達との関わり方やできるようになるための努力等、自分の内面的な成長に気付いている。 ④共に成長してくれた友達や自分の成長を支えてくれた人々の存在、自分との関わりについて気付いている。	①これまでの体験を基に、年長児にとって、楽しく学校のことが分かる交流会の仕方を考え、準備したり交流したりしている。 ②これまでの学校生活を振り返った写真や年長児からの質問などから、伝えたいことを考えている。 ③入学した頃の自分と今の自分を比較して、考えている。 ④自分の成長を支えてくれた人に感謝の気持ちを持ち、成長の喜びやこれからの生活について表現したり伝えたりしている。	①年長児に喜んでもらえるように、これまでの学校生活で得たことを分かりやすく伝え、すすんで交流しようとしている。 ②自分自身の成長や友達の成長に関心を持ち、振り返ろうとしている。 ③友達と協力し、学校にいる人々や友達の様子、校内の様々な場所について、見たり、調べたりしようとしている。 ④周りの人に支えられて自分が成長してきたことを実感し感謝の気持ちを持ち、進級への願いをもって意欲的に生活しようとしている。

4 児童の実態と教材について

本学級の児童は、元気で生活科の学習に意欲的な児童が多い。話合い活動を行ったり意見の伝え合いをしたりすることを様々な学習の中に取り入れるようにしている。生活科の学習では、自分の考えをもつことができる児童が多いが、自分の考えを上手く表現できない児童がいたり、友達の考えを受け身になって聞いたりする児童が一定数いたりすることも事実である。学校アンケートで「たくさん

の人や自然と関わって生きている」「自分の気持ちを伝えることができる」と答えた児童は90%以上であるが、様々な学習活動の中で、自分の気持ちを伝えたり、人の気持ちを考えて行動したりすることに難しさを感じている児童もいる。入学前に不安を感じていたり、入学当初、初めてのことばかりで戸惑ったりしていたことを思い出し、自分より小さい年長児との交流を通して、自分の考えをもつことや、相手意識をもって考えたり行動したりすることができるようにしたい。以上のようにSDGs目標4「質の良い教育をみんなに」の視点を関連させながら「未来につながる子」を育成していく。

5 重視したいESDの視点との関連

ESDの視点	育てたい具体的な姿	関連評価
①批判的に考える力	・年長児の聞きたいこと、見たいことと、自分たちの伝えたいことを比べて、何を伝えるとよいかを考えている。	思① 知③
④コミュニケーションを行う力	・自分の意見を持ち、友達に伝えたり、友達の意見を聞いたりして、年長児に伝えることを考えている。 ・相手意識をもって、伝えることを考えている。	思② 主①
⑤他者と協力する態度	・グループで励まし合いながら、伝え方を考えることができる。	主③

これらの力・態度を高めることで、ESDの構成概念「相互性」「連携性」を身に付けさせたい。

6 本單元における研究主題にせまる手だて

(1) 批判的に考える力

- ・年長児の知りたいこと見たいことと、自分たちの伝えたいことを比べやすいように、プリントにして配布する。

(2) コミュニケーションを行う力

- ・話型を使って考えを伝え合い、その後、紹介したいものを話し合えるようにする。

(3) 他者と協力する態度

- ・グループを3人組にすることで、意見を伝えたり聞いたりしやすくする。

7 他教科等との関連

生活科「三はけしょうのこと おしえるよ」		
国語科	生活科	道徳
ともだちのこと、しらせよう てがみでしらせよう	きょうから 1ねんせい	よりよい学校生活 しんせつ・思いやり

8 指導計画 (全10時間)

次 (時数)	<div style="text-align: center;">課題</div> ○児童の主な学習活動	・予想される児童の反応	評価規準
第一次 (1)	年長さんだったころを思い出そう ○自分たちが初めて小学校に来た時の思い出や印象に残っていることを発表し合う。 ○保育園や幼稚園と小学校の違うところや、知りたかったこと、不安に思っていたことを発表し合う。	・ドキドキして、緊張したよ。 ・ちょっと怖かったな。	知③ 思③ 主②
第二次 (1)	年長さんに知りたいことを聞いてみよう ○前時の学習を振り返り、入学当初、聞いたかったことや知りたかったことを思い出す。 ○年長児に聞きたいことや知りたいことを教えてもらえるように、みんなで手紙の内容を考える。	・年長さんは、どんなことを知りたいのか聞いてみたいな。 ・どんな勉強をするのか楽しみだったよ。	知① 思②
第三次 (2) 本時	年長さんの知りたいことを聞いて、伝えることを考えよう ○年長児の聞きたいことや知りたいことを知る。 ○電子黒板に掲示された年長児の聞きたいことや知りたいことを見ながら、グループでどんなことを伝えようとよいか話し合う。 ○グループで話し合ったことを全体で共有する。 ○クラス全体で、伝えたいことや紹介したい人、場所を話し合って決める。	・年長さんは、こんなことが知りたいんだね。 ・たくさんあるから全部は紹介できそうにないね。 ・1年生になってすぐに知っておいた方がいいことから決めよう。	知② 思②
第四次 (4)	伝える準備をしよう ○グループごとにインタビューをしたり、紹介したい場所に行ったりして、紹介するための準備をする。 ○行事など、写真を使って紹介したい内容の時は学校記録用写真から選ぶ。 ○インタビューしたことや調べたことを基に伝えたいことを発表原稿に書く。 ○発表の練習をする。	・年長さんに分かりやすい言葉を使った方がいいね。	思① 主①③
第五次 (1)	小学校を紹介しよう ○年長児を招き、小学校生活を紹介したり、楽しく交流したりして、関わり合うことを楽しむ。 ※状況によってオンラインでの交流会	・わたしがこのやくをするね。	知① 主①
第六次 (1)	感想を聞こう・振り返ろう ○年長児の感想を聞いたりして、交流を振り返り、感想を伝え合う。	・年長さんにじょうずにつたえることができたね。	知④ 思④ 主④

9 本時（3 / 10時間）

(1) 本時の目標

○小学校のことで、自分たちが紹介したいことや年長児の聞きたいこと、知りたいことから、紹介するとよいことを考えることができるようにする。

(2) 本時の展開

	○学習活動 T教師の発問 C予想される児童の反応	□指導上の留意点 ☆評価規準【観点】（評価方法）
気 付 く	<p>○本時のめあてを確認し、活動の見通しをもつ。 T「年長さんにお手紙を書きましたね。どんな手紙を書きましたか？」 C「小学校のことで知りたいことを教えてねと書きました。」 C「不安なことはないかなって聞きました。」 T「お返事が来たので、先生が読みます。」</p> <p>C「どんな勉強をするのか知りたいんだね。」 C「教室を紹介してあげたいな。」 T「どんなことを紹介してあげるといいかな。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">ねんちょうさんにしょうかいしたいことをかんがえよう</div>	<p>□前時までの学習を振り返り、学習の見通しをもつ。 □ワークシートを見返し、年長児に伝えたいことを思い出す。</p>
見 付 け る	<p>○年長児に紹介したいことを決める（個→グ→全） T「年長さんの聞きたいことや見たいこと、皆さんの伝えたいことはたくさんありましたね。どうしましょう？」 C「全部は伝えられそうにないな」「いくつかにしよう」</p> <p>T「年長さんの聞きたいこと見たいことと、皆さんの伝えたいことを1枚のプリントにしたものを配ります。よく見て、紹介したいと思ったもの3つに赤鉛筆で丸を付けましょう。理由が書ける人は空いているところに書きましょう。」 C「体育館は教えてあげたいな」 C「校長先生や新井先生を紹介した方がいいな。」</p>	<p>□年長児さんの知りたいこと見たいことと、自分たちの伝えたいことを比べやすいように1枚のプリントにして配布する。</p>
伝 え 合 う	<p>T「机を3人組にして、どれに丸を付けたのか伝え合います。理由が言える人は理由も伝え合って3人で相談し、3つ青鉛筆で丸をつけましょう。」 C「私は、○と○と○に丸を付けました。どうですか？」 C「私は、○がいいと思います。どうしてかという・・・。」 C「みんな丸を付けているから、これは丸つけようか？」</p>	<p>□友達の意見を聞いたり自分の意見を伝えたりして相談し、3人で伝えたいことに丸を付けるように支援する。</p>
広 げ る	<p>○全体で共有する。 T「では、グループごとにどれに丸を付けたのか発表しましょう。理由もいえるといいですね。」 T「同じだね。」「○○の方がいいかな。」 T「みんなはこんなことが紹介したいのですね。」</p>	<p>☆自分たちの紹介したいことや年長児からの質問などから、伝えたいことを考えている。 【思②】（観察）</p>
つ な げ る	<p>○学習のまとめと振り返り T「今日の学習はどうでしたか？」 C「年長さんに紹介したいことを考えることができました。」 T「振り返りカードを書きましょう。」 C「年長さんの知りたいこと見たいことから、紹介したいことを考えることができました。」 T「次にやりたいことを発表してください。」 C「紹介することを決めたいです。」</p>	<p>□次時の活動に意欲をもたせるため、次はどんなことをしたらいいか、投げ掛ける。</p>